

“希望” 果たした！ 第13回全国大会

素晴らしい演奏をありがとう

大会実行委員長 佐野啓次(デューク・グリーン・サウンド)

「心一つ」

この第13回全国大会を私が引き受けた大きなポイントは、このすばらしい全国大会を東京のド真ん中で行ってみたいと以前からの希望でした。この全日本シニアアンサンブル連盟に入って10年近くになって、あとやりたい事は私たちの地元での全国大会を開催することだけでした。

私は、ある杉並のフルバンドでの一員の時は、音楽を楽しむことなく不満だらけでした。それと言うのも練習とか発表会になると各パートの所へプロを入れて編成するので、すでにアマチュア精神をなくしたもので、私はすぐ一人で飛び出して自分独自のバンドを持って10人編成までのバンドを作り上げて今仲間と心一つにして頑張ってきたので、この大会を大切にそして成功さねばならないとメンバーと一緒に自分たちの仕事ができる喜びを感じました。

「やる気、決意」

10年間での各地方での全国大会の内容とか運営、又は予算など少しづつ勉強は自分なりにどのように進めていかねばならないか、今回の課題はこの大都会・新宿に全国の人達を集めるには会場をどこにするかにかかった。全日本シニアアンサンブル連盟の加入数の一番多い団体は千葉であり、この一二年で10チームも増えた事や、そして大活躍している情報を聞いています。千葉に近いところを考慮し、新宿区をあきらめ江東区“ティアラ江東”に決めた。しかし予算の点で都内では目が飛び出る高さで、ティアラ江東ではかなり高いですが、条件があり江東区内に音楽活動団体があれば料金が半額になるとのことでしたので、即理事長に相談して江東区内に楽団を立ち上げる方向に進めていただき、無事代表者を決めて手続きし大きな問題を解決していただき、前進させた。予算的にもこの点ですごく先が見えて、強い気持ちにもなりました。

「予算」

まず大きな予算的なものが少なくでき、私個人的に、過去何回かものは全てボランティアの方にたよって他人任せなところが見えて、シニアだから自分達はいいだらうと思う所あったが、私は絶対この大会においては自分達を中心に自分達で出来るものは我々会員で運営することができれば又大きい意義があるのではないかと、一番大切なプログラムの進行と意思、舞台装置係を我々会員をどの様に仕事をしていただけるのか、各団体より2名づつ出していくことで予定がつくと思いき、事務局長と良く相談して進めることが出来た。ボランティアを使ってさらに有料にして予算が合わない事は何年か前にも経験した事を思い、今回は絶対にやるかわりには赤字はいっさい出さない覚悟で言いました。実際は受付に女性ボランティア5名ほどお手伝いをしていただき、大変運営上大助かりました。

「運営」

最大の問題は舞台進行に対してどれだけの人数と、一つ一つ舞台の作り方・進め方が今回はスムーズに運び上げた。それは舞台指導者の経験がものいったすばらしい前半後半時間通り良く役をはたしました。

「出演者と来場者」

アンケートとしては会場が迷路のようだったという意見がありましたが、当日は係の者が人を集め館内を案内して見せていました。一部外部の催し物と同じフロアで混雑し、又、エレベーターが思うように使用できなかったと言っていた今回はリハーサルが無いので音合わせが満足でなかったが、来場者は午前中の会場は少ない気がしましたが、少しづつ入場者は増えていったようです。券が売れた割には少ない気がした。

「懇親会」

終演後、会場を東武ホテルに移した懇親会、盛り上がり楽しい会になりました。司会者と大会実行委員長の挨拶をさせていただき、当日135名の大パーティとなり、明るく楽しい交流できたことに感謝申し上げます。

「終わりに」

今回は全国大会でなく地域大会(例えば関東地区大会)を今後進めても良いのではないかと私は思います。演奏して下さった皆様本当に有難うございました。又、会場内が迷路の所も有り大変苦労した人もいます。私達は大会成功のためいろいろ尽力したつもりですが、至らぬ所もあったと思います。心よりお詫び致します。終わりにになりましたが、今大会につきましてご後援・ご協賛頂きました各方面の方々に厚くお礼申し上げます。又、陰で本大会を支えて下さったボランティアの皆様方、深く感謝する次第でございます。次期大会開催地である市川市の第14回大会の成功を祈念致しまして、感謝とお礼の言葉とさせていただきます。以上、実施報告とさせていただきます。

写真：hmd